

# 令和8年度 苫小牧市立啓北中学校 学校経営方針

## I 学校経営の理念

### 生徒・保護者・地域住民・教職員

### 「一人一人の個性を大切にする」学校であること

人は、人とのかかわりの中でその個性を輝かせる。

個性は決して一人では輝くことはできない。いろいろな人がいて初めて、その個性の価値が高まるものである。保護者、地域住民、教職員、そして生徒がかかわり合う中で、一人一人の個性を輝かせたいという願いのもと、学校経営を推進していく。

地域住民は「土」、生徒は「芽」、保護者は「太陽」、教職員は「水」、そして、校長は「風」である。私は、学校にかかわるすべての人にとって心地よい風となるよう努力し続ける。

## II 学校経営の基本的な考え方

### 「人を生かす組織をつくる」

啓北中学校は、生徒の個性を生かす学級・学年経営をする。

啓北中学校は、教職員のやりがいを高め、職能を生かす・伸ばす組織運営をする。

### 「人とのかかわりの中で、人づくりをする」

啓北中学校は、人とのかかわりの中で生徒の資質・能力を育てる。

啓北中学校は、生徒・教職員・地域の方とのかかわりの中で成長する。

## III 学校教育目標

「やり通す」 たくましい体と強い心を持ち、自ら鍛え最後までやり抜く **「粘り強さ」**

「協力する」 豊かな心を持ち、自らに厳しく、温かく補い合い進んで協力する **「協働性」**

「前進する」 美しいものに感動し、広く考え、自らを高め、常に向上する **「創造性」**

## IV 啓北中学校区学校教育力向上エリア会議・学校運営協議会 目指す15歳の生徒像

広く深く考え、自らを高め、常に向上する生徒  
豊かな心を持ち、あたたかく補い合う生徒  
たくましい体と強い心をもつ

## V 教育推進の4つの重点

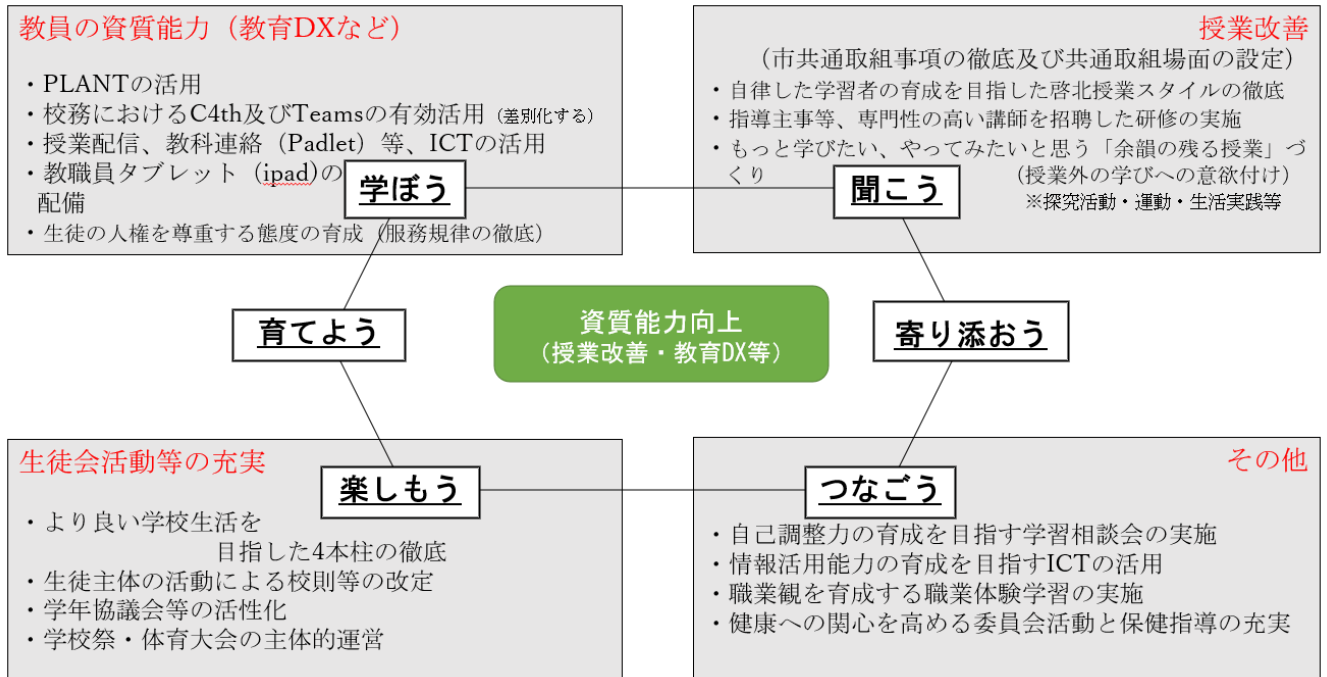
- 1 資質・能力の向上
- 2 心の育成
- 3 共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実
- 4 教育の質を高める働き方改革

### 手段

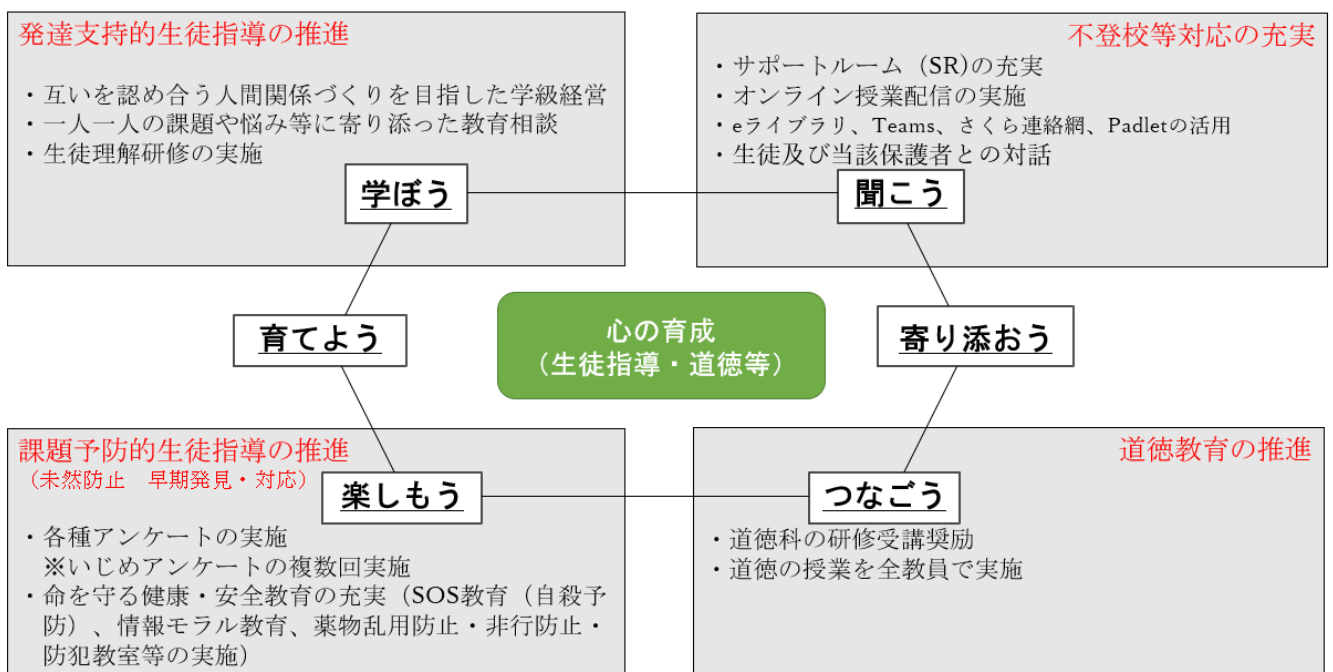
地域、家庭、PTA、小中連携、外部人材を活用しながら充実・推進させる

## VI 重点取組事項

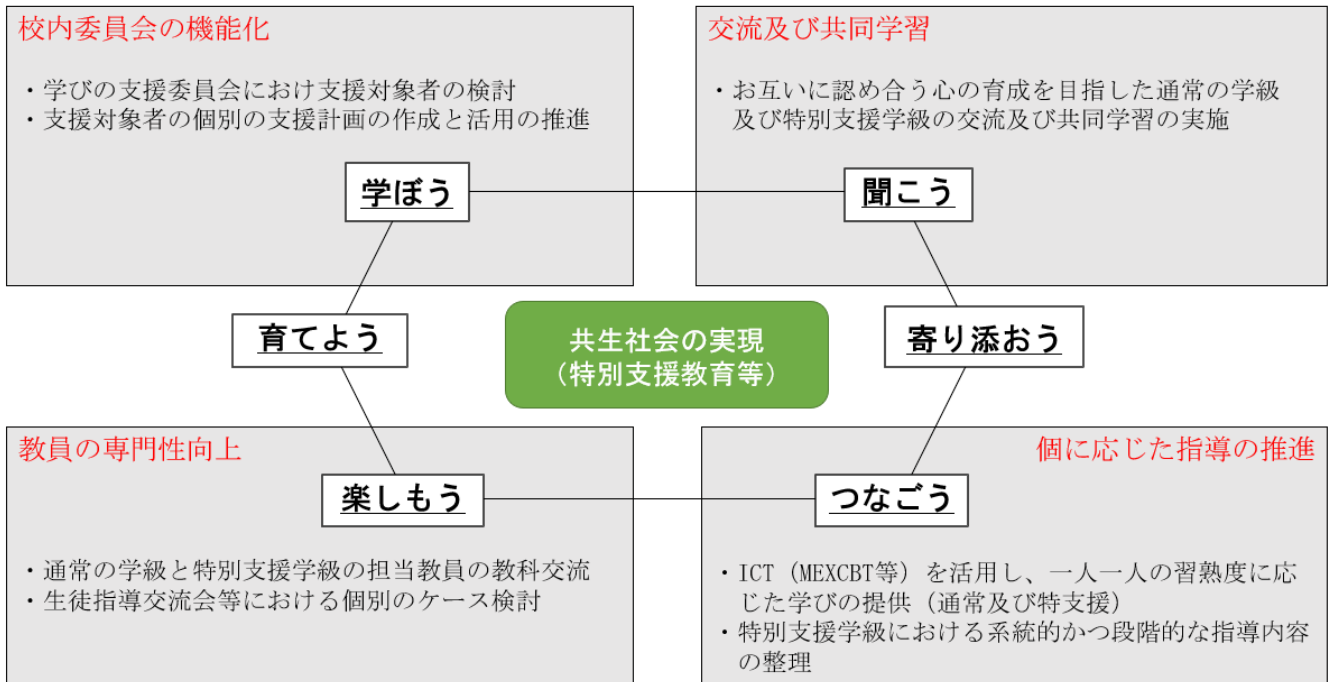
### 1 資質・能力の向上



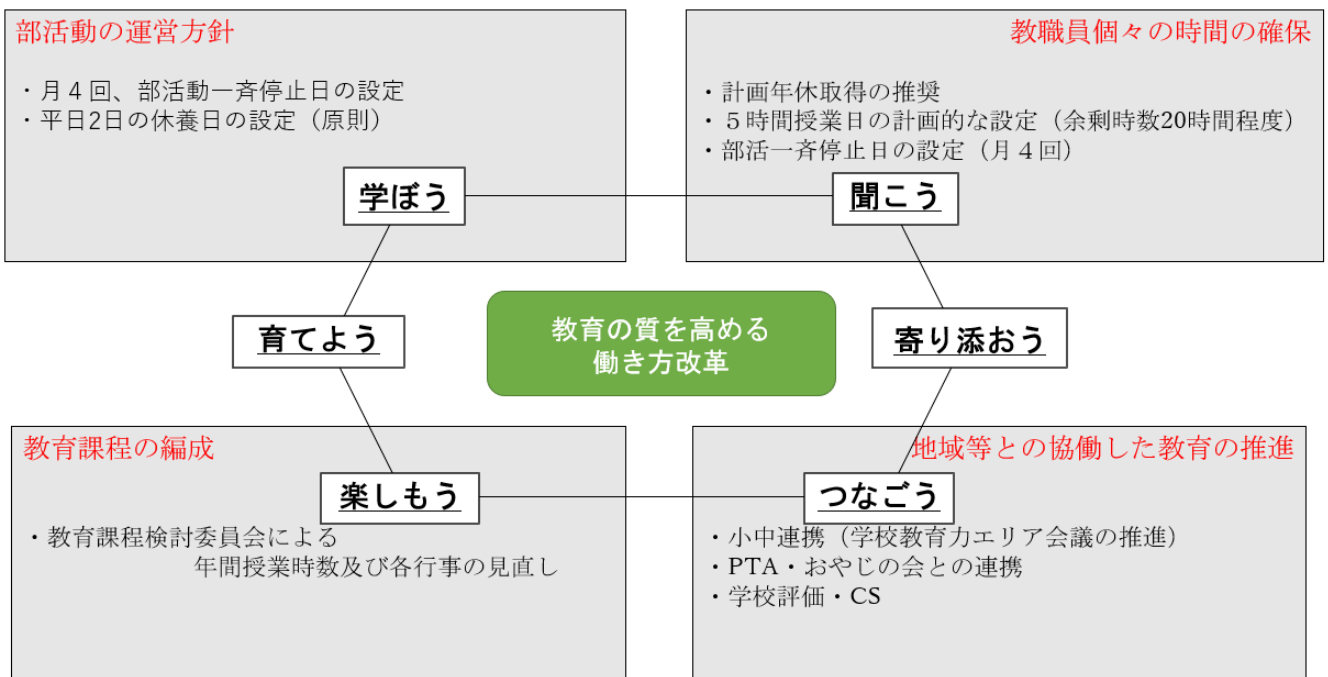
### 2 心の育成



### 3 共生社会の実現



### 4 学びの質を高める働き方改革



## VII 重点取組事項達成のための生徒と教職員が共有する「6つの行動指針」

- 01 「学ぼう」 生徒も教師もみんなで学ぼう。
- 02 「育てよう」 子どもにかかわるすべての人で育てよう。
- 03 「楽しもう」 楽しみながら取り組もう。
- 04 「聞こう」 意見や悩み事など、たくさんの人に耳を傾けよう。
- 05 「寄り添おう」 相手の立場・気持ちになって考えよう。
- 06 「つなごう」 人と人をつなごう。つなげよう、地域へ、社会へ。

## VIII 学校課題に対応した主な取組の方針

### 1 授業改善

#### 質の高い学びの提供

- ① 「学習指導要領」 + 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）」を読み込もう
- ② 自立した学習者の育成を目指す啓北授業スタイルを徹底しよう  
(苫小牧市授業改善策の徹底)
- ③ タブレットを活用した授業を積極的に実践しよう
- ④ 生徒指導と一体化した授業を構築しよう（生徒理解を深め、一人一人の特性を生かした授業を実践する）
- ⑤ 深い学びへといざなう終末の展開を意識しよう（授業外の学びへの意欲付）

### 2 生徒指導

#### 正確な事実確認・状況把握

#### 個の特性に応じ、迅速且つ最後までやりきる指導

- ① 指導のゴールを明確にしてやりきろう（生徒への指導、保護者への連絡等）
- ② ゴールの設定は、3人以上で決定しよう
- ③ 指導は複数で行おう（若手教員、積極的に！） ※全体の情報共有を忘れずに
- ④ 開かれた生徒指導を実践しよう（保護者への正確な情報提供・指導の協力依頼や警察等の関係機関と協力した生徒指導の実現）

### 3 不登校対応

#### 社会自立を目指す関り

一人一人が居場所を感じられる学級経営・授業を基本に

- ① 安心できる場所、時間を提供しよう（SR、Teams等のチャット機能、市教委設置教育支援センターなど）
- ② 見通しをもたせ、選択肢を与えよう（自己決定）
- ③ 他者と協働した取組の実施を提案しよう（人との関り）
- ④ 対話をしよう（なりたい自分を可視化）※ICT（Teams等）の活用も！

### <校内教育支援センター（サポートルーム 略称SR）の設置及び運営方針>

| 中位目標 心のエネルギーを蓄えること                    |   | 最上位目標 社会自立に向かって歩き出すこと                                      |                           |   |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------|---|
| 心のエネルギーを蓄えること                         | 自己選択・決定できること  | 自分の課題と向き合うこと   | なりたい自分をイメージすること           | 歩き出す  |
| ○干渉されない場の提供<br>○給食の提供<br>○担任・担当者等との対話 | ○登校時間<br>○学習内容<br>※教科を選択して通常の学級で学習することも可<br>※選択肢の拡大（運動・文化的活動の機会等）<br>※オンライン授業配信 | ○担任・担当者等との対話<br>○他者との協働（運動・作業等）<br>○道徳教材の活用<br>○振り返りシートの作成 | ○担任・担当者等との対話<br>○目標シートの作成 | ○卒業（進路決定）<br>○進級（継続または学級復帰）<br>※学級復帰は年度途中でも可であるとともに、選択肢の一つにすぎない |

## 4 特別支援教育

### 真の個に応じた指導の実現

- ① 通常の学級と特別支援学級の担当教員の教科交流（一部教科）をする
- ② 交流及び共同学習の推進しよう
- ③ 学びの支援委員会を機能させよう
- ④ 個別の指導計画をフル活用しよう

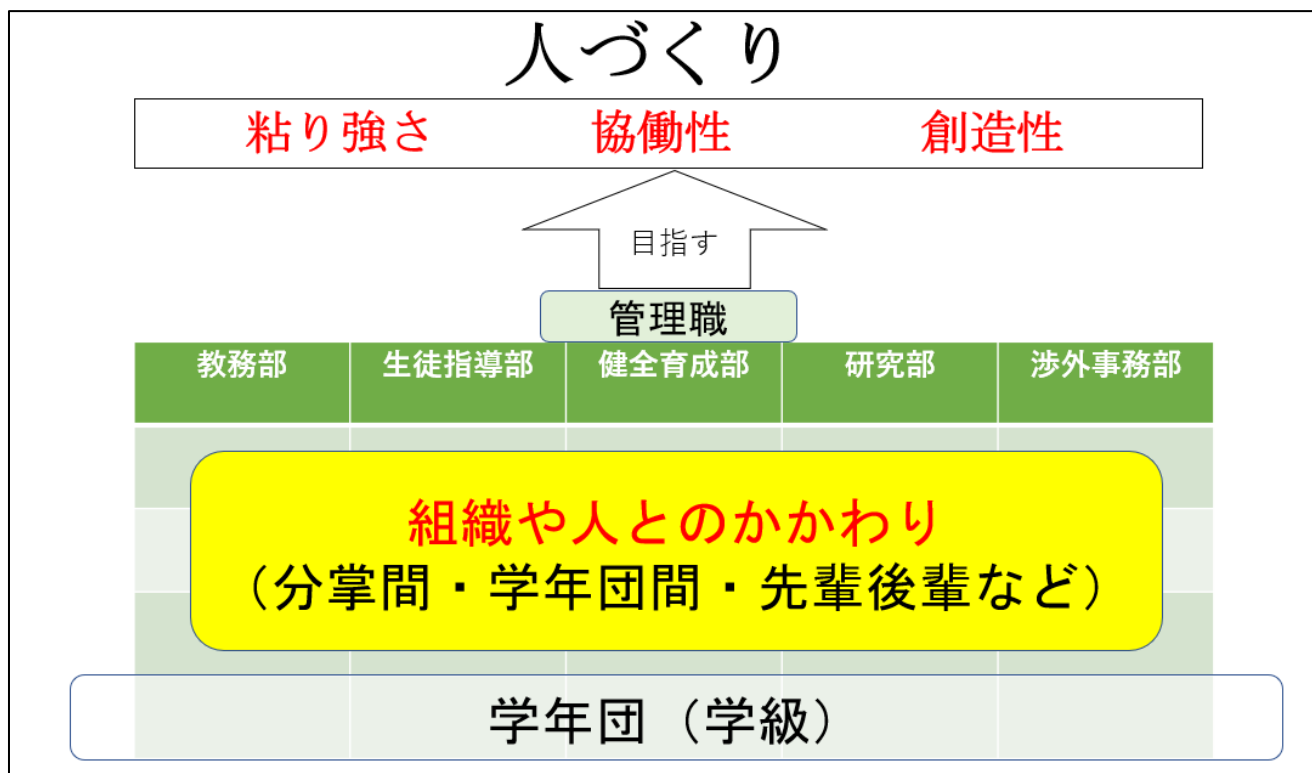
## 5 教育の質を高める働き方改革

### 十分な休息と研修時間の確保

### 人間性の幅を広げる時間の確保

- ① 月4回、定時退勤日を設定する ※部活動休養日と連動
- ② 年次有給休暇を組織的かつ計画的に取得しよう
- ③ 5時間授業日の計画的な設定（年間余剰時数 30 時間程度の設定）
- ④ 校務の ICT 化を推進しよう
- ⑤ 部活動は、
  - ・原則平日 2 日以上、休日 1 日以上 of 休養日を設定する
  - ・月 4 回、部活動一斉停止日の設定する

## IX 教育推進の組織図



生徒・保護者・地域住民・教職員

「一人一人の個性を大切にする啓北中」  
を実現しよう

